

平成 28 年(2016 年)熊本県熊本地方を震源とする地震
非常災害対策本部会議(第16回)議事録

日時:平成28年4月25日(月)16:11~16:25

場所:官邸4階大会議室

1. 内閣総理大臣 発言

(内閣総理大臣)

- 「必ず、いまだ連絡が取れない方々を見つけ出す。」その強い決意が、一昨日、南阿蘇村で捜索に当たっている各隊員から伝わってきて、大変頼もしく感じました。被災地では依然、地震が続き天候も不安定ですが、各部隊は引き続き、二次災害に注意を払いながら、捜索活動に力を尽くしていただきたい。
- 本日、今般の地震を『激甚災害』と指定することを閣議決定した。これにより、道路や河川等の公共土木施設、農地や学校等の復旧事業に対する財政支援の特例措置が講じられる。一日も早く復旧が進み、さらに被災地の産業の復興が実現するよう、補正予算の編成など財政面での支援を強力に講じて参る。
- 被災地では、全国各地から延べ約6千人のボランティアの皆さんが駆け付けて来ています。物資の仕分け・運搬や被災家屋の片付け、介護支援等、それぞれの特長を活かして被災された方々を支えています。心から感謝申し上げたい。
- 被災された方々に、避難所や自動車から安心な『住まい』へ一日も早く移っていただくことが急務である。被災家屋の被害認定、罹災証明書の交付等に最優先で取り組まなければならない。その手を加速するため、国の職員を速やかに投入すると同時に、全国の自治体に対してこうした業務に精通した職員の追加派遣を要請する。マンパワーを総動員し、できるだけ迅速に交付されるよう全面的に支援して参りたい。
- 同時に、仮設住宅の建設も先手先手で進めなければならない。被災自治体の作業を支援するため、今日から、東日本大震災の建設作業を経験した職員を被災地に派遣した。公営住宅の受付や用地の選定は既に始まっているが、建設の一日も早い着工に向けて被災自治体と一体となって取組を加速化していく。
- 発災から10日。インフラも徐々に復旧し、九州新幹線も数日中に全線開通する見込みであり、ガスについても、今月中に6割、来月8日に完全復旧する見込みだが、被災地は、精神的にも肉体的にも非常に困難な状況に置かれている。省庁の枠にとらわれることなく一致団結し、やれることは全て直ちに実行していくこと。

2. 被害状況及び各省庁の対応状況について

(警察庁)

- 先程、南阿蘇村高野台団地において、高齢男性1名発見との情報有り。詳細は確認中。

(総務省)

- 緊急消防援助隊の主な活動としては、南阿蘇村での捜索活動と避難所でのノロウイルス患者 19 名の緊急搬送を実施。
- 罹災証明書の早期交付のための応援職員派遣は、現在のスキームでも始まっており、被災自治体の要望

等も踏まえて、必要な人員確保を進めていきたい。

- また、アップル社より、iPad500 台の提供が有り、これを活用していきたい。

(海上保安庁)

- 港で支援活動を行っている。昨日は、給水 17t、673 名への入浴支援実施。

(防衛省)

- 84 箇所では物資輸送を実施。
- 生活支援として給食 49 力所、給水 135 力所、入浴支援 25 力所を実施。
- 仮設トイレの設置、ノロウイルス対策等を関係機関と連携し実施中。
- 民間船舶「はくおう」については本日 200 名が利用している。
- 自衛隊への感謝の声が寄せられている。
- 阿蘇の保健福祉センターにおいても、関係機関と連携し、医療支援を実施している。
- 被災自治体からは、タイミング良くオスプレイ等により物資輸送がなされていることに感謝の声。

(厚生労働省)

- 医療については、DMATからJMATのモードに移行し、150 チームが活動。
- 保健師は 62 チームが活動中。薬剤師は 70 名から 100 名に増やし引き続き活動。
エコノミッククラス症候群については、女性・高齢者を中心に 35 名の患者が出ている。
- 水道については、熊本市で 500 戸断水している他、水が出にくい地域がある。
全国からの支援により、38 班 300 名態勢で市内全域を点検中であり、その他、水道協会等から追加支援を要請中。

(農林水産省)

- ノロ対策で、清涼飲料水 1,000 本を発送。さらに 9,000 本を確保し発送した。
- 食料支援については、20 万食を本日までに発送済。
- 被災地のニーズに合わせて、要望が多かったパックご飯を明日発送予定。
- 農地、農業施設、林道等の被害が明らかになってきている。二次災害に注意しながら、引き続き被害の全容把握を早急に進め、被災された農林漁業事業者に寄り添って、速やかな事業再建やインフラ復旧に取り組んでいく。

(経済産業省)

- ガスについては 5 月 8 日の復旧完了を目指し、4,600 名体制で復旧作業中。現時点で約 3 割復旧。
- iPad1,000 台を各避難所に配布しており、27 日には試行運用に移りたい。
- 中小企業対策については、窓口を設けて相談を受け付けているとともに、ガイドブックを配布している。支援機関との協議会を開催し、私からもさらなる支援を呼び掛けていきたい。

(国土交通副大臣)

- 九州新幹線については、昨日脱線車両の移送を終え、順調に進めば数日中に全線運転再開の見込み。
- 高齢者や体調不良の方を県内のホテル・旅館で 53 名受入れ。
応急危険度判定は約 600 人体制で行っており 8 市町村で 18,142 件実施、益城町、菊陽町では当初予定分を完了。
- 土砂・がれきの搬出については、熊本港の活用について調整中。

(環境大臣)

- 生活ごみ対策として、8 自治体から益城町、熊本市へ 38 台の清掃車を派遣。
- 仮置き場については、益城町で満杯となり一時受入中断中。
新たな仮置き場の開設に向けて緊急工事中であり、明日 8 時から受入再開予定。
益城町以外の自治体についても、仮置き場の追加設置や管理の強化を図っていく。

(消費者庁)

- 震災に伴う悪質商法に対応するフリーダイヤルを設置し、相談を受け付けている。

(文部科学大臣)

- 本日から、熊本県内の 37 の小中学校が再開した。

(防災担当大臣)

- 皆様の支援に感謝申し上げたい。
- 被害認定、罹災証明書の発行が、今後重要な事項となり、人手も必要となってくる。
- IBM の避難所支援システムを搭載した、iPad の配備により被災地のニーズを吸い上げていきたい。
- 小さい避難所については、NPO と連携して実態を把握していきたい。
- 閣僚の現地視察については、今週は自粛していただきたい。

以上